

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第7部門第3区分
【発行日】平成17年8月18日(2005.8.18)

【公開番号】特開2003-230114(P2003-230114A)

【公開日】平成15年8月15日(2003.8.15)

【出願番号】特願2002-26924(P2002-26924)

【国際特許分類第7版】

H 0 4 N 7/08

G 0 6 F 12/14

H 0 4 N 1/00

H 0 4 N 7/081

H 0 4 N 7/15

H 0 4 N 7/173

【F I】

H 0 4 N 7/08 Z

G 0 6 F 12/14 3 2 0 F

H 0 4 N 1/00 B

H 0 4 N 7/15 6 3 0 A

H 0 4 N 7/173 6 1 0 Z

【手続補正書】

【提出日】平成17年2月1日(2005.2.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

デジタル画像を撮影する撮影手段と、該撮影されたデジタル画像を他の情報端末に配信するための通信手段とを備えた情報端末において、

他の情報端末であって、前記配信されるデジタル画像を受信可能なものを近傍内サーチする近傍内サーチ手段と、

前記撮影されたデジタル画像に著作権情報を埋め込む埋め込み手段とを有し、

前記通信手段は、前記埋め込み手段によって著作権情報が埋め込まれたデジタル画像を前記サーチされた他の情報端末にリアルタイムに配信することを特徴とする情報端末。

【請求項2】

前記通信手段は無線通信を行うことを特徴とする請求項1に記載の情報端末。

【請求項3】

前記近傍内サーチ手段は、前記デジタル画像を表示可能な情報端末をサーチすることを特徴とする請求項1に記載の情報端末。

【請求項4】

前記近傍内サーチ手段は、前記デジタル画像を操作可能な情報端末をサーチすることを特徴とする請求項1に記載の情報端末。

【請求項5】

前記デジタル画像が撮影されるときに、同時に音声デジタル録音する録音手段をさらに有し、

前記通信手段は、配信すべきデジタル画像に当該デジタル音声を添付して配信することを特徴とする請求項 1 に記載の情報端末。

【請求項 6】

前記埋め込み手段は、電子透かし技術を用いて、当該デジタル画像に前記著作権情報を埋め込むことを特徴とする請求項 1 に記載の情報端末。

【請求項 7】

リアルタイム配信モードが設けられ、前記通信手段は、前記リアルタイム配信モードが設定されているときに、前記著作権情報の埋め込まれたデジタル画像を前記サーチされた他の情報端末にリアルタイムに配信することを特徴とする請求項 1 に記載の情報端末。

【請求項 8】

前記サーチされた他の情報端末には、リアルタイム受信モードが設けられ、前記通信手段は、当該他の情報端末が前記リアルタイム受信モードに設定されたときに、当該他の情報端末に前記デジタル画像を配信することを特徴とする請求項 7 に記載の情報端末。

【請求項 9】

前記通信手段は、S S (Spread Spectrum) 通信方式によって、他の情報端末と無線通信を行うことを特徴とする請求項 1 に記載の情報端末。

【請求項 10】

前記 S S 通信方式の一つとして B l u e t o o t h を用いることを特徴とする請求項 9 に記載の情報端末。

【請求項 11】

デジタル画像を撮影する撮影手段と、該撮影されたデジタル画像を他の情報端末に配信するための通信手段とを備えた情報端末を制御する制御方法において、

他の情報端末であって、前記配信されるデジタル画像を受信可能なものをリアルタイムに近傍内サーチする近傍内サーチステップと、

前記撮影されたデジタル画像に著作権情報を埋め込む埋め込みステップと、

前記埋め込みステップにおいて著作権情報が埋め込まれたデジタル画像を、前記近傍内サーチステップにおいてサーチされた他の情報端末に、前記通信手段を介してリアルタイムに配信する配信ステップと

を有することを特徴とする情報端末の制御方法。

【請求項 12】

デジタル画像を撮影する撮影手段と、該撮影されたデジタル画像を他の情報端末に配信するための通信手段とを備えた情報端末を制御する制御方法を、コンピュータに実現させるためのプログラムであって、

前記制御方法は、

他の情報端末であって、前記配信されるデジタル画像を受信可能なものをリアルタイムに近傍内サーチする近傍内サーチステップと、

前記撮影されたデジタル画像に著作権情報を埋め込む埋め込みステップと、

前記埋め込みステップにおいて著作権情報が埋め込まれたデジタル画像を、前記近傍内サーチステップにおいてサーチされた他の情報端末に、前記通信手段を介してリアルタイムに配信する配信ステップと

を有することを特徴とするプログラム。

【請求項 13】

請求項 12 のプログラムを格納したことを特徴とする記憶媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するため、請求項 1 に記載の情報端末は、デジタル画像を撮影する撮影手段と、該撮影されたデジタル画像を他の情報端末に配信するための通信手段とを備えた情報端末において、他の情報端末であって、前記配信されるデジタル画像を受信可能なものを近傍内サーチする近傍内サーチ手段と、前記撮影されたデジタル画像に著作権情報を埋め込む埋め込み手段とを有し、前記通信手段は、前記埋め込み手段によって著作権情報が埋め込まれたデジタル画像を前記サーチされた他の情報端末にリアルタイムに配信することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

請求項 3 に記載の情報端末は、請求項 1 の情報端末において、前記近傍内サーチ手段は、前記デジタル画像を表示可能な情報端末をサーチすることを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

請求項 4 に記載の情報端末は、請求項 1 の情報端末において、前記近傍内サーチ手段は、前記デジタル画像を操作可能な情報端末をサーチすることを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

請求項 7 に記載の情報端末は、請求項 1 の情報端末において、リアルタイム配信モードが設けられ、前記通信手段は、前記リアルタイム配信モードが設定されているときに、前記著作権情報の埋め込まれたデジタル画像を前記サーチされた他の情報端末にリアルタイムに配信することを特徴とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

請求項 8 に記載の情報端末は、請求項 7 の情報端末において、前記サーチされた他の情報端末には、リアルタイム受信モードが設けられ、前記通信手段は、当該他の情報端末が前記リアルタイム受信モードに設定されたときに、当該他の情報端末に前記デジタル画像を配信することを特徴とする。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

上記目的を達成するため、請求項 11 に記載の情報端末の制御方法は、デジタル画像を

撮影する撮影手段と、該撮影されたデジタル画像を他の情報端末に配信するための通信手段とを備えた情報端末を制御する制御方法において、他の情報端末であって、前記配信されるデジタル画像を受信可能なものをリアルタイムに近傍内サーチする近傍内サーチステップと、前記撮影されたデジタル画像に著作権情報を埋め込む埋め込みステップと、前記埋め込みステップにおいて著作権情報が埋め込まれたデジタル画像を、前記近傍内サーチステップにおいてサーチされた他の情報端末に、前記通信手段を介してリアルタイムに配信する配信ステップとを有することを特徴とする。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

上記目的を達成するため、請求項12に記載のプログラムは、デジタル画像を撮影する撮影手段と、該撮影されたデジタル画像を他の情報端末に配信するための通信手段とを備えた情報端末を制御する制御方法を、コンピュータに実現させるためのプログラムであって、前記制御方法は、他の情報端末であって、前記配信されるデジタル画像を受信可能なものをリアルタイムに近傍内サーチする近傍内サーチステップと、前記撮影されたデジタル画像に著作権情報を埋め込む埋め込みステップと、前記埋め込みステップにおいて著作権情報が埋め込まれたデジタル画像を、前記近傍内サーチステップにおいてサーチされた他の情報端末に、前記通信手段を介してリアルタイムに配信する配信ステップとを有することを特徴とする。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0083

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0083】

【発明の効果】

以上説明したように、請求項1, 11, 12または13のいずれかに記載の発明によれば、配信されるデジタル画像を受信可能な他の情報端末が近傍内サーチされ、撮影手段によって撮影されたデジタル画像に著作権情報が埋め込まれ、該著作権情報が埋め込まれたデジタル画像が、前記サーチされた他の情報端末にリアルタイムに配信されるので、当該情報端末上で撮影されたデジタル画像を低コストで簡単に他の情報端末に配信することができる。

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0084

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0084】

請求項3に記載の発明によれば、受信されたデジタル画像を表示可能な情報端末がサーチされるので、当該情報端末上で、デジタル画像を確認することができる。

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0085

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0085】

請求項4に記載の発明によれば、受信されたデジタル画像を操作可能な情報端末がサー

チされるので、当該情報端末上で、デジタル画像を加工することができる。

【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 8 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 8 8】

請求項 7 に記載の発明によれば、リアルタイム配信モードが設定されているときに、著作情報の埋め込まれたデジタル画像がサーチされた他の情報端末にリアルタイムに配信されるので、撮影したデジタル画像の配信動作の選択を簡単に行うことができる。